

大地震が発生！ あなたは何をしますか？

まず第一に自分の身を守りましょう

1. 「自助」(自分と家族の身をもる)

「シェイクアウト」です！



- ①身を低くして、安全な所に
- ②頭を保護して
- ③地震が収まるまで動かない

そして、普段の準備は飲料水や食料(7日～10日分)の備蓄をしたり、ガラスのフィルム貼りや家具の固定等に気を付けましょう。
(避難所開設には早くて7日はかかります)

地震が収まったら

2. 「隣助」(隣近所・同じ班内で助け合しましょう)

- ①「いっとき集合場所」で近所の人達の安否確認をしましょう。
- ②必要に応じて初期消火や救急救助を、人手が足りない時は隣組に声をかけましょう。
- ③状況に応じて、食事などは近所同士で準備しましょう。



3. 「共助」(自治会・自主防災で、行動を一緒に)

- ①もし家屋の倒壊や半壊などの大きな被害に遭ったら自治会で助け合い、避難所開設までがんばりましょう。
- ②広域避難所に行く場合には、自治会としてまとまって行動しましょう。

4. 「公助」(行政と自治会の共同体制)

避難所は、行政と施設管理者とそして自治会が共同で開設し、自治会が主体となって運営して行くのです。この様に、災害時には自治会が大きな役割を担っています。

※詳しい情報は市の「防災対策総合ガイド」を参照下さい

『避難所の公設民営』を目指して

7月25日(土)、県立相模向陽館高校で災害時の避難所の開設・運営方法について理解を深める目的で、周辺自治会員、スタッフ合わせて60名余にお集まりいただきました。

この訓練は、座間市と市民団体「ざま災害ボランティアネットワーク」の協働事業で、大規模災害が起きた時に、住民が避難所をスムーズに運営できるようにするための市民参加型訓練です。訓練の中で、食糧確保やプライバシー保護の面で厳しい生活を強いられ、避難所運営の難しさを痛感させられました。また避難所を利用しないための「減災」の重要性を再認識しました。

避難所は、簡単に開設することは出来ません。それは、施設の安全の確認が必要だからです。それゆえに「公設」すなわち「行政担当者」の点検を受け安全が確認されて開設に取り掛かります。また巨大地震が発生したら、何となく地域の人が集まり、みんなで力を合わせて避難所を開設して運営しよう…という「お祭り型」の動きがありますが、これは非常に危険なことです。

前もって、常設避難所運営委員会を、避難対象と思われる自治会が集まり、施設・行政関係者と共同で立ち上げるのが望ましいです。地域・施設に合致したマニュアルを作成し、年に一回は訓練を行う。実際に大災害が発生して避難する事態が発生したら、常設避難所運営委員会が主導で避難所を立ち上げ、初期の時期が経過したら「避難所運営チーム」が組織され、そのももて活動が引き継がれて運営されるのが基本かと思います。

ひばりが丘地区自連会長 波形 昭二



地域防災推進員との意見交換会開催



全防災課との意見交換会を8月22日(土)に開催しました。自由討論では、地域の防災・減災の取り組みに

自治会での防災・減災活動をより強化するため、市自連防災防犯部では初の試みとして地域防災推進員と各地区自連会長、市役所の安

はかなり温度差があり、一例としてこれまで5か所で行った「避難所開設訓練」で事前準備が出来ていた地域とそうでない所があった、自主防災会は関わる人が替わっていくことも踏まえ、継続的な運営ができるようにしていく必要がある等、率直な意見が多く出され、今後に繋がる有意義な会になりました。

防災防犯部長 香西 伸一

自主防災リーダー研修会の報告

地震体験を通してお話し

安全安心部会・防災防犯部長 香西 伸一



震度7の地震体験は初めてです。即、テーブルの下にもぐりましたが、床はガタガタ、テーブルも激しく動き回ります。その脚にしっかりしがみついて揺れが収まるのを今か今かと待ちました。体験とはいへ震度7がこんなに恐怖とは、驚きの一言です。風水害体験コーナーでは風速30 m/秒。ビルや地下街での火災による煙避難体験では、ハン

ンカチでしゃり口を覆い、姿勢を低くして出口探し。消火器を使ったストーブ火災に対する消火体験。盛りだくさんのメニューに自分の体がバニックです。

7月1日(水)厚木市の「神奈川県総合防災センター」での「自主防災組織リーダー研修会」に、今年度も地区の代表25人で行ってきました。ここはヘリポートが2面あり、災害発生時には、食料はもとより機材物資の供給基地になります。私たちの街で被災した時にはここと緊密な連携が取れる事が復旧の鍵だなと思いました。一方普段は、新任消防官の導入訓練学校でもあります。

グループに分かれての訓練では、実際に作ったラレキの中から、被災者に見立てた人形を救出する訓練や毛布と物干し竿のわか作り担架で救護人を搬送する訓練をしました。どの訓練も「講師消防官」から適宜アドバイスが飛びます。「今日、訓練に来られた皆さんは、地域の防災リーダーです。今日の成果を持ち帰ってください。」との伝言がありました。

午後からは、「避難所運営図上訓練」。学校の体育館を避難所として生かす時の注意点。要援護者、高齢者、妊婦、乳幼児、更には帰宅困難者、外国人といさかないく、避難生活を築くにはどうしたらよいか?たぐさんのことを学びました。

「自治会が地震への備えを築いていかなければならない。地震は何時来るかわからない。」と痛感しました。

平成27年度 第1回 高座清掃施設組合等 視察研修会報告

安全安心部会・環境部長 後藤 明正

- 参加対象地区…新田宿・四谷、座間、入谷第一、入谷第二
- 実施日…平成27年7月22日(水)

平成27年度から地域別に視察研修会を行うこととして、参加者20名と環境部1名で各施設の説明を受けながら視察、移動の車中でのゴミ問題についての意見交換その他、暑さにも負けず、楽しく1日過ごせました。各施設で就労していただいている従業員の皆様に感謝の気持ちが多数述べられていました。

高座清掃施設組合では、初めて参加した方は皆さん共通して、設備の大きさ、1日に持ち込まれるゴミの量の多さに驚いておられました。365日24時間連続して稼働しないと捌ききれない量です。燃えた後の灰は県外の施設で高温で処理し、再資源化にも取り組んでおられます。

資源第2リサイクルセンターでは、持ち込まれたプラスチックゴミを分別・水洗して処理し、選別されたゴミはプラスチック原料等として有効に再資源化し、「Aランク評価」を受けています。

リサイクルプラザにおいては、粗大ゴミから再生された洋服ダンス、応接セット、テーブル等が展示され、参加者は1点を熱心に見て、「あれいいね!」「あれ欲しいね。」の声も飛び交い、初めての参加の方とも一層コミュニケーションを深める場として最高でした。

作業音が響き渡る資源リサイクルセンターでは、声を張り上げて説明をしていただきましたが、全員の耳までは届かず恐縮した次第です。こちらも設備が補強され、ビン、缶の選別をされ再資源化に努力されている姿を後に、今日1日の視察研修を無事に終えることが出来ました。

ゴミの分別は各家庭で徹底を!ゴミ集積所は利用される皆様できれいに維持管理をお願いし、行政では回収し出されたゴミの正しく出たことでの美化につながることを期待いたします。



地域とつながる

ASA

は地域社会に貢献する
店づくりに取り組んでいます。

まずは試し読みから…
各紙1週間無料試読できます

朝日新聞サービスアンカー

読者のベルマークを地元の学校へ
ASAはベルマーク運動を応援しています!



朝日新聞 日本経済新聞 神奈川新聞 東京新聞 産経新聞

朝日小学生新聞 朝日中学生ウォークリー 日刊スポーツ 東京中日スポーツ サンケイスポーツ ほか

ASA相武台前 広野台1-28-3 ☎046-257-4066
ASA新相武台 広野台1-28-3 ☎046-256-6177
ASA相武台 緑ヶ丘5-7-17 ☎046-253-2330

ASA座間 座間1-3104-5 ☎046-251-1878
ASA相模野 さがみ野2-2-17 ☎046-254-5491
ASA相模原みなみ(相模原市南区) 相模原市南区松が枝町7-4 ☎042-743-0398

伝統の鈴鹿明神社

例大祭



毎年例大祭は往古6月7日より14日までとし、14日は海老名の有鹿神社が磯部の勝坂有鹿谷の清水湧き出る洞窟に水もらいの神輿を出し、これに鈴鹿明神の御神輿もおともしました。鈴鹿明神はこの日で祭りを終え、有鹿神社はこの日より御例祭を3日間執り行っていました。

当時の神輿担ぎ手は18人と決まっており、鈴鹿長宿、皆原、星の谷の三地区から6人ずつの代表が選ばれ神輿を担ぐことが許されます。兵役があった頃は、甲種合格者が特別に優先的に担ぐことが出来、兵役から帰ると御礼のためにもまた担ぐことが出来ました。現在は宮官祭が7月31日、例大祭が8月1日となり、2日間のお祭りとなりました。また、昭和43年に神奈川神社庁常務使参向神社に指定されました。平成7年に神輿保存会入谷陸が新たに結成され、平成8年には宮神輿を新調し、宮神輿の選渡りを行っています。

入谷第一地区 古木普絵様 記



星の谷はやし保存会

星の谷はやし保存会は、前身の旧青年会囃子連を引き継ぎ、獅子芸能として江戸時代から永く伝えられている、祭りはやしを保存・継承し後継者および指導者の育成と地域文化の向上に寄与することを目的に設立され、野島会長の元に現在大人20名、小・中学生35名が参加し鈴鹿明神社の例大祭ほか地域諸行事に参加し活気と活力を添えています。

当会の屋台囃子は新囃子と呼ばれ、勇敢かつ賑やかさが特徴で、鈴鹿明神社の例大祭では家内安全・健康祈願等の奉納太鼓を披露し、祭りを盛り上げております。本年は創立40周年の節目の年、長老方のご協力を仰ぎ屋台囃子・宮昇殿・七丁目・岡崎囃子等をお伝えと探譜により書面化するとともに、演奏風景をCD・DVDに録音・録画し初期の目的に沿うよう準備中でございます。



入谷第一地区 星の谷連合 杉本 親平様 記

夏祭り



座間ハイツ

『第36回盆踊り大会』開催について

東建座間ハイツ自治会 会長 佐々木 和彦

東建座間ハイツは座間駅と市役所の中間に位置し、谷山公園に隣接しています。主に14階建ての建物物が4棟で構成され、1,047戸のマンションで全ての住戸が自治会に加入しています。

東建座間ハイツ自治会では、入居以来開催している自治会主催、連合管理組合協賛による「第36回盆踊り大会」を8月1日(土)の午後4時から9時まで、座間ハイツ内わんぱく広場で開催致しました。この盆踊り大会は、やぐらの組立、提灯張り、会場の設営ならびに屋台運営をすべて座間ハイツの住民で行っています。特に屋台については、座間ハイツ内の各サークルや子ども会ならびに管理組合の全面的なご支援と協力により、焼き鳥、焼きそば、かき氷、ポップコーン、駄菓子・おもちゃ等々計12屋台を、準備から片付けまでを運営して頂きお祭りをサポートしてもらっています。

当日は暑い日ざしが照りつける中、子ども神輿が小学生を中心に座間ハイツ内を渡御し、引き焼き各店舗の販売開始、おみやげの交換とお楽しみ抽選会、ふるまい酒等を行い、日が沈むころから予定通り盆踊り大会を行うことができました。

やぐらの上で太鼓演奏を披露する子どもたちは、この晴れ舞台のために大会が始まる1週間前から練習を始め、小さな手に豆をつくりながら一生懸命太鼓を叩いて本番に備え、会場の盛り上げに役がたっもりました。

また、座間ハイツで子ども時代を過ごした我々の子ども世代が自分の子どもを連れての帰省や近隣住民の参加もあり、多くの人々が会場が埋め尽くされ、大変賑わい夏のとてもしよい一日となりました。



JAさがみ座間支店

年金相談会

無料
実施中

— 毎月第3金曜日は年金相談の日 —

10/18(金)、11/20(金)、12/18(金)、28年1/15(金)
10/24(土)も開催します。

時間/午前10時~午後3時

年金の専門家(社会保険労務士)が、「年金」に対するご相談にお答えします!! ●ご参加の方は電話でのご予約をお願い致します。

JAさがみ座間支店
座間市入谷1-3074 TEL(代)046(251)0033

くわしくは、JAさがみ座間支店の窓口、専任担当者にお問い合わせください。

大和齋場前

ゆたか典礼

座間市ひばりが丘

TEL: 046-261-1189



下記の通り、各地区大会を開催します。お問い合わせは事務局・各地区自連へ。

大会名称(地区自連)	開催日	開催場所	雨天
新田宿・四ツ谷	10月11日(日)	ニュースポーツ 多目的広場	コミセン で実施
座間	10月11日(日)	市内外各所	各公民館
	10月25日(日)		
	11月15日(日)		
入谷第一・第二	10月11日(日)	県立谷戸山公園	12日(月)
立野台	10月12日(月)	立野台小学校校庭	同校体育館
緑ヶ丘	10月4日(日)	座間中学校校庭	同校体育館
相武台	10月25日(日)	相武台東小学校校庭	同校体育館
相模が丘	10月18日(日)	相模が丘小学校校庭	同校体育館
小松	10月4日(日)	旭小学校校庭	同校体育館
ひばりが丘	10月4日(日)	ひばりが丘小学校	同校体育館
東原・さがみ野	10月11日(日)	芹沢公園	12日(月)
栗原中央・西栗原	10月4日(日)	栗原小学校/芹沢公園	中止
南栗原	10月4日(日)	南中学校校庭	同校体育館

よりよい福祉のまちづくりを担うために

社会福祉法人 座間市社会福祉協議会
会長 大友 奉

座間市社会福祉協議会は、昭和55年4月法人化より今年で35年を迎えました。

基本理念「共に生きる社会づくり」にむけて」を掲げ、座間市の地域福祉を推進する団体として活動を行っています。

近年、福祉を取り巻く環境として、少子高齢化に伴う人口の変化による

核家族の急増や生活困窮者への支援、高齢者・障がい者・児童虐待など、長きにわたる経済不況や社会情勢などを背景として、身近な地域の生活課題は多様化し、さらに深刻化が進んでいます。

しかし、これらの課題は社会福祉協議会だけでは解決を図ることは出来ません。解決には地域住民の皆さまと共に、様々な課題に取り組みなければなりません。

そのひとつに、市内に「地区社会福祉協議会(=地区社協)」の設置を推進しています。地区社協は、地域における課題の解決や住みやすいまちづくりを目指すため住民同士が話し合い支え合いながら活動しています。

地域での活動においては、まず地域を知ることが重要であり、それは顔の見える関係により築かれるものであると考えます。これは自治会活動も同様ではないでしょうか。

しかしながら、社会福祉協議会自体認知度は低く、活動PRや情報発信力は足りていないのも課題であり、現状であります。

社会福祉協議会は、市自治会総連合会の皆さまや地域住民と関係を築き上げるため、福祉まつりや市総合防災訓練への参画、災害時においてボランティアを派遣するボランティアセンター立上訓練など、様々な活動を行い、座間市のよりよい福祉のまちづくりを担うため、これからも社会福祉協議会は人とのつながりを中心に、地域の皆さんと一緒に活動を行いたいと考えております。

市自治会総連合会の皆さまの活動が、共によりよい地域となるようご活躍を願い、社会福祉協議会への末永いご支援とご協力を宜しくお願いいたします。



座間市川柳会
高得点作品一部

気さくよ財布の口と軽い口
 見せられずエムメンの空財布
 老所帯日に日に瘦せてゆく財布
 休止符のない人生の靴を脱ぐ
 歯が痛む益々痛い休診日

水島 重信
 相谷 好忠
 榎垣 文乃
 田中 禮子
 小原 明子

当会では、会員を募集しています。特に、初心者の方を歓迎致します。
 旬会は、毎月第4日曜日、午後1時から座間市公民館にて開催します。希望者はご連絡下さい。
 連絡先 座間 勝
 電話 046-225-0423

事務局よりおしらせ

11月1日(日)には、市民ふるさと祭りや座間中学校で開催され、市自連は対外的ブースを出します。ふるってご参加ください。

11月8日(日)は、市内一斉美化デーです。雨天の場合、翌週の15日(日)に順延します。

12月6日(日)には、市内一斉の防犯パトロール実施です。

編集後記

5月の猛暑もどき、6月からの長い梅雨、梅雨明け後の本格的猛暑、立秋を境に一気に気温降下と変動の激しい気候が続きました。火山の噴火のニュースも多く、自然災害の危険性はより高まっているようです。今号は市自治会総連合会の防災に対する活動を中心にお伝えしました。皆様の防災活動の御役にたてれば幸いです。今号から編集メンバーが大きく入れ替わりました。慣れない作業に頑張っておりますので、よろしく申し上げます。(広報部一同)